

4. 原材料・エネルギー価格の高騰等への支援

昨今の原材料・エネルギー価格の高騰や急激に進む円安により、中小・小規模事業者には甚大な影響を及ぼしている。特に製造業にとっては大変厳しい状況にあります。

これまでも運輸業を対象とする支援策を講じていただいたところですが、支援対象業種を拡大した給付金等支援策の拡充を図りたい。

5. 商店街振興対策の充実

谷越商店街・本町一丁目商店街など、まちなかの中心商店街となっている中央通り線の道路拡幅事業が展開され、道路利用者の安全や生活環境の向上などの改善が行われております。

しかしながら、まちなかの商店街は、経営者の高齢化・後継者不足、都市間や郊外型商業集積との競合による店舗の減少、空き店舗の増加や駐車場への転換が進んでいる。

まちなか商店街の空洞化対策と高齢者など買い物弱者対策のため、新規出店者の誘致や公共施設等の中心市街地への移転、まちなか賑わいイベントの検討など、さらなる支援をお願いしたい。

6. コロナ融資返済を見据えた資金繰り支援

コロナ禍から社会経済活動の正常化が進み、緩やかな持ち直しが続いている一方で、業績回復が遅れた事業所は今後厳しい資金繰りになると予想される。

このため資金繰りに困窮する事業者への支援強化が必要であり、事業所にとって利用しやすい小規模事業者向け融資（マル経）の利子補給制度の創設など、検討をお願いしたい。

7. 里沼めぐり循環バス運行の促進と関連観光の活用

点在する3つの沼を結ぶ移動手段は乏しく、日本遺産である里沼と周辺観光資源が活かしきれていない現状があり、旅行客の利便性を高めるため、館林駅を拠点とした二次交通網の整備が必要となっている。

里沼を中心とする周遊型循環バスの運行と、群馬県立館林美術館・茂林寺周辺・つつじが岡公園等、関連する周辺観光を活用した誘客効果の高いキャンペーン実施について検討を図りたい。また併せて周辺インフラの充実をお願いしたい。

8. フィルムコミッション設立

映画やドラマのロケーション撮影を誘致する手段として、県内にも10以上のフィルムコミッションが設立されています。取り上げられた映像を通して、「地域」を知り、魅力を再発見され、新たな地域活性化が見いだされると考えられます。

館林市は首都圏から約1時間の距離にあり、自然災害も少なく、また歴史のある建物等多くの撮影資源に恵まれており、地域の活性化・知名度アップ・観光客誘致等の効果を狙う目的として、早急な設立をお願いしたい。

9. 東北自動車道館林インターチェンジへの接続道路整備

館林インターチェンジは、国道354号が全線複線化したことに伴い、利便性の向上により人流・物流が増加し、群馬県の生産活動の根幹となる東の玄関口としての意味合いはますます高まっている。

太田・大泉方面からの乗り入れは、2車線の内右側車線が東北道流入用の右折専用へと急に変わってしまう構造であり、物流が従来水準に戻ると右折車線渋滞と交通事故が懸念される状況となる。今後、板倉町方面からの車線複線化も考えられ、右折進入がより難しくなることから、先を見据えた架橋新設による左折でのアクセス、または感応式・時差式信号による右折時間の延長や車線の改良、道路標識の追加などの整備を検討されたい。